

西宮市第二庁舎（危機管理センター）整備事業における審査講評について

西宮市は、西宮市第二庁舎（危機管理センター）整備事業（以下、「本事業」という。）にかかる、西宮市第二庁舎整備事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）の審査講評を公表します。

平成30年3月2日

西宮市長職務代理者

西宮市副市長 松永 博

# 西宮市第二庁舎（危機管理センター）整備事業

## 審査講評

平成 30 年 3 月 2 日

### 西宮市第二庁舎整備事業者選定委員会

委員名	所属・役職等
澤木 昌典	大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻・教授
紅谷 昇平	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・准教授
宮崎 ひろ志	関西大学環境都市工学部・専任講師
向井 洋一	神戸大学大学院工学研究科・准教授
山口 健太郎	近畿大学建築学部・教授

《目 次》

1. 選定委員会の審議・審査等の経過.....	1
2. 審査結果.....	1
3. 落札者等候補の市への答申.....	5
4. 各提案に対する評価の概要.....	6
5. 選定委員会の総評.....	8

## 1. 選定委員会の審議・審査等の経過

本事業の落札者等候補を選定するために、選定委員会を5回開催した。選定委員会の審議・審査等の経過については下表のとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	平成29年5月31日	(1) 選定委員会運営要領 (2) 会長、副会長の選出 (3) 会議の公開、非公開の決定 (4) 事業概要について (5) 事業者選定スケジュールについて
第2回	平成29年7月13日	(1) 基本設計概要説明書について (2) 実施方針等の公表について ①実施方針 ②要求水準書(案) ③VE提案実施要領(案) ④落札者決定基準(案)
第3回	平成29年9月7日	(1) 前回の選定委員会以降の経過報告 (2) 入札説明書等の公表について
第4回	平成30年1月29日	(1) 入札価格の確認結果の報告(失格者の有無) (2) 基本的事項の確認結果の報告(失格者の有無) (3) 評価項目による審査 (4) 入札参加者へのヒアリング事項の確認
第5回	平成30年2月7日	(1) ヒアリング及びプレゼンテーション審査 (2) 提案点の算出 (3) 総合評価点の算出 (4) 落札者等候補の選定 (5) 審査講評の協議・確認

## 2. 審査結果

### (1) 入札参加者

本事業における入札参加者は、以下の3企業グループであった。

提案受付番号	代表企業	代表企業以外の構成企業	担当業務
【013】	株式会社 大林組 神戸支店	株式会社 久米設計 大阪支社	設計
		株式会社 羽衣組	建設
【016】	株式会社 奥村組 神戸支店	株式会社 綜企画設計 神戸支店	設計
		株式会社 新井組	建設
【019】	株式会社 竹中工務店 神戸支店	株式会社 安井建築設計事務所	設計
		株式会社 松田組	建設

(2) 第一次審査

入札参加希望者の提出した入札参加資格審査に関する提出書類が、入札説明書の「入札参加者の備えるべき参加資格要件」を満たしていることを確認した。

(3) VE提案の採否に関する審査

第一次審査を通過した入札参加者から提出されたVE提案について、採否に関する審査を行った。

(4) 入札価格の確認（開札・予定価格以下であることの確認）

平成30年1月12日に入札参加者立会いの上、開札を行い、入札価格が、市の予定価格以下であることの確認を行った（入札価格の確認を行った入札書は再封し、提案点確定の後、開封を行い価格点の算出を行った）。

(5) 基本的事項の確認

入札価格について条件を満たしていることの確認後、提案書類の各様式に記載された内容が、要求水準書に示す要件をすべて満たしていることを確認した。

(6) 評価項目に基づく審査（提案点の算出）

選定委員会は、各入札参加者の提案書類内容について、予め公表された落札者決定基準に基づき評価を行った。

a) 実績評価項目に基づく提案点

評価項目			配点	【013】	【016】	【019】
1	全体	1) 統括代理人の実績	2.5	1.50	1.50	<b>2.00</b>
		2) 統括代理人または監理技術者の実績	1.5	0.00	0.00	0.00
2	設計業務	1) 管理技術者の実績	2.5	<b>2.50</b>	1.50	0.00
		2) 主任技術者の実績	2.5	<b>2.38</b>	1.50	1.88
3	施工業務	1) 監理技術者の実績	2.5	1.50	1.50	<b>2.00</b>
		2) 施工担当者の実績	2.5	2.17	<b>2.50</b>	2.17
合計			14.0	10.05	8.50	8.05

b) 技術提案評価項目に基づく提案点

提案審査項目			配点	【013】	【016】	【019】	
1	全体	業務全体の実施方法	①発注者等とのコミュニケーション	4.0	1.40	1.00	<b>1.60</b>
			②全体工程管理	8.0	<b>4.40</b>	1.20	4.00
	地域経済への貢献	①市内企業への発注や市内調達の割合	5.0	<b>5.00</b>	<b>5.00</b>	<b>5.00</b>	
		②その他地域経済活性化に資する取組	1.0	<b>0.30</b>	0.15	0.25	
2	品質性能向上に関する提案	合理的な構造形式等	8.0	<b>7.60</b>	2.80	<b>7.60</b>	
		宮水・文化財等の保全や地盤特性に配慮した合理的な地下構造（施工深さ、杭工法等）	6.0	<b>3.90</b>	2.40	3.30	
		供用開始以降の維持管理・設備更新・大規模修繕等の容易性の向上	10.0	7.00	2.50	<b>8.50</b>	
		LCCの縮減効果	6.0	2.40	1.80	<b>2.70</b>	
		災害時の業務継続性能の向上	8.0	5.20	4.00	<b>6.40</b>	
		市庁舎に相応しいデザイン計画	4.0	<b>1.20</b>	0.80	1.00	
		ユニバーサルデザイン	4.0	<b>1.80</b>	0.80	1.60	
3	施工計画に関する提案	第二庁舎等建設業務及び既存施設等の解体撤去工事における安全対策、近隣協議及び環境負荷軽減対策	6.0	<b>2.40</b>	0.60	1.50	
		地下連絡通路整備	8.0	3.20	1.60	<b>3.60</b>	
		関連事業との連絡調整	8.0	<b>3.20</b>	1.20	2.40	
合計			86.0	49.00	25.85	49.45	

提案点： a)+b)	【013】	【016】	【019】
	59.05	34.35	57.50

(7) 入札価格に基づく審査（価格点の算出）

下記の算定式により、各入札参加者の入札価格の得点化を行った。

<p><b>【算定式】</b></p> <p>入札価格／予定価格<math>\geq</math>0.7の場合</p> $\text{得点} = 150 - \frac{150}{30} \times \left\{ 100 \times \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} - 70 \right\}$ <p>入札価格／予定価格<math>&lt;</math>0.7の場合</p> <p>得点 = 150点</p>
---

提案受付番号	入札価格（消費税及び地方消費税を除く）	価格点
【013】	6,620,000,000円	66.08点
【016】	7,451,000,000円	11.61点
【019】	6,985,000,000円	42.16点

予定価格 : 7,628,180,000円（消費税及び地方消費税相当額を除く）

(8) 総合評価点の算定による落札者等候補の選定

（総合評価点の算定結果）

提案受付番号	①提案点	②価格点	③総合評価点	総合評価点順位
【013】	59.05	66.08	125.13	1
【016】	34.35	11.61	45.96	3
【019】	57.50	42.16	99.66	2

### 3. 落札者等候補の市への答申

選定委員会は、落札者決定基準に基づき、提案受付番号【013】の代表企業及び構成企業を落札者候補として最も適当なものとして選定し、その次に総合評価点の高かった提案受付番号【019】の代表企業及び構成企業を次点落札者候補として選定し、市に答申した。

(落札者候補)

代表企業	代表企業以外の構成企業	担当業務
株式会社 大林組 神戸支店	株式会社 久米設計 大阪支社	設計
	株式会社 羽衣組	建設

(次点落札者候補)

代表企業	代表企業以外の構成企業	担当業務
株式会社 竹中工務店 神戸支店	株式会社 安井建築設計事務所	設計
	株式会社 松田組	建設



#### 4. 各提案に対する評価の概要

各提案に対する選定委員会での審査項目別評価の概要は次の通りである。

審査項目	評価
<b>(1)全体 業務全体の実施方法・地域経済への貢献</b>	
【013】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程短縮の提案については、第二庁舎開庁準備期間が確保できる点で評価できる。</li> <li>・業務全体を円滑に運営する組織体制を明確にしており、確実に事業を推進していく姿勢が評価できる。また、施工品質の管理方法や施工精度の確保について、グループ内で役割分担および精度向上のための方策が具体的であり評価できる。</li> </ul>
【016】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注者を含む事業関係者間での情報管理の方策が明確な点が評価できる。</li> <li>・事業の確実な履行という点において、全体工程に遅れを生じさせないための具体的な対策に欠ける点が課題である。</li> </ul>
【019】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業務完了を早める工程短縮提案について、施設の引渡しは要求水準通りとすることで、事業者側が施設を管理したうえでの開庁準備期間を十分に確保できる点が評価できる。</li> <li>・本事業の発注方式の特性を最大限に活かし、設計当初からのコスト管理や施工検討の前倒しといった業務遂行への姿勢が評価できる。</li> </ul>
<b>(2)品質性能向上に関する提案</b>	
【013】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設特性に配慮し、免震効果を高める構造計画の提案がなされている。また、平常時の利用者（市民・職員）の利便性にも配慮した平面プランの提案が評価できる。</li> <li>・設備機器更新の容易性向上や簡便化、機器更新作業の詳細検討を行ったうえでヘリポートの機能向上への配慮がなされ、提案効果の高い点が評価できる。</li> <li>・すべての利用者にとってやさしいユニバーサルデザインの実現といった視点での提案がなされており、きめ細やかな配慮が各所に感じられる。</li> </ul>
【016】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調計画の変更による維持管理の効率化やライフサイクルコストの削減につながる具体的な提案があり、評価できる。</li> <li>・停電時の電源確保の方策について、業務継続性向上に効果のある独自の提案がみられ評価できる。</li> <li>・定量的な効果の把握が困難なものや、具体性に欠ける提案が散見される点が課題である。</li> </ul>
【019】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築プランと整合性を図ったうえでの構造計画の提案となっており、免震効果を高めた耐震安全性に優れる提案が評価できる。</li> <li>・日常のメンテナンス・修繕だけでなく、長期的な視点での設備機器更新時の作業性合理化について、幅広い範囲での提案がなされ、維持管理上の効果が高い点が評価ができる。</li> <li>・危機対応時の第二庁舎に求められる役割をよく理解したうえで、実効性があり、実際の災害対応にも効果の高い提案がなされていた点が評価できる。</li> </ul>

(3) 施工計画に関する提案

【013】	・複数予定されている関連事業との連絡調整方法について、事業スケジュールが遅延しないよう、具体的な対策・期限・体制を設定したバランスの良い提案となっている点が評価できる。 ・工事期間が長期にわたることや計画敷地南側市道部分の工事に配慮し、近隣との良好な関係構築を目的とした具体的方策が講じられている点が評価できる。
【016】	・施工条件や全体工程などの事業の特徴や諸条件をよく理解したうえで、要求水準を遵守した施工計画となっている。
【019】	・計画敷地南側市道部分の地下工事において、周辺の交通量を把握したうえで、交通規制が生じる期間を最小限にとどめる提案は、公道部分での確実な工事の実施といった点で評価できる。

## 5. 選定委員会の総評

本事業は、市の防災危機管理の中核拠点として、様々な危機事案に対する防災・危機管理の対応力と業務継続力の向上を図ることを目的として第二庁舎（危機管理センター）を整備するものである。

発注方式は「基本設計先行型 実施設計・施工一括発注方式」とし、実施設計段階から民間事業者のノウハウを幅広く活用するために、品質・性能を向上させる提案や工事費等を低減させるための技術提案を受け付けたうえで落札者等候補の選定を行った。

本事業の特徴として、特に「合理的な構造形式・地下構造」、「災害時の業務継続性」等の施設機能向上や、「関連事業との連絡調整」「宮水・保護樹木の保全」といった施工段階での有効な対策が求められる中で、3 企業グループから入札参加があり、いずれのグループからも非常に高いレベルでの独自技術やノウハウが発揮された提案が数多く見られた。選定委員会では、委員それぞれの専門分野からの見識や、これまでの経験と知識を結集し、様々な観点より意見交換を交わしたうえで評価を行った。

提案受付番号【013】グループは、市が求める施設の機能や、事業期間中の課題について深く理解したうえで、それぞれの提案項目に具体的かつバランスよく技術提案を反映させていたことを評価した。また災害時だけでなく、「庁舎」としての日常の利用者目線での計画もきめ細かく提案する姿勢が印象的であった。

提案受付番号【016】グループは、実施設計と施工を一括で実施する事業手法の利点を活かし、関係者間での情報共有・一元化の方策を発注者だけでなく関連事業の事業者も含んで提案されており、事業が円滑に実施されるよう配慮されている点が評価された。

その反面、施設計画上の効果が判別しにくい提案が散見された点が惜しまれる。

提案受付番号【019】グループは、施設の特徴から特に重要となる構造計画、業務継続性能や長期に渡る維持管理面での機能向上について、幅広い視点から独自の技術も交えながら優れた品質の提案をしていたことが評価できる。また、施工計画においても具体的な提案が多くみられ、本事業を確実に遂行するための意欲が感じられた。

今後、落札者候補は、市と事業契約を締結することが予定されているが、事業期間中においても今回の提案内容をもとに、さらに充実した整備事業の実現に向けて取り組むとともに、市の意向を最大限尊重しながら「高度な耐震性能と高い安全性を備えた庁舎」の整備に尽力されることを期待する。

最後に、選定委員会として、入札参加者の本事業への熱意と努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

以上